



2025年1月23日

各 位

会 社 名 鴻 池 運 輸 株 式 会 社
代 表 者 名 代表取締役会長兼社長執行役員 鴻池 忠彦
(コード番号：9025 東証プライム市場)
問 合 せ 先 常務執行役員 田辺 茂樹
経営企画本部本部長
TEL 03-3575-5753

(開示事項の経過)「Ferro Scrap Nigam Limited」の株式取得(完全子会社化) に関するお知らせ

当社は、2024年9月27日付「フェロ スクラップ ニグラムFerro Scrap Nigam Limited」の株式取得(完全子会社化)に関するお知らせにてインド国営の鉄鋼スラグ処理事業会社である「Ferro Scrap Nigam Limited」(以下「FSNL社」)の株式を取得することを公表しておりますが、2025年1月21日付で取得が完了し、FSNL社は当社の完全子会社となりましたので、お知らせいたします。

本件は、2024年7月29日に行われたインド国営の鉄鋼スラグ処理事業会社であるFSNL社の民営化に伴うインド政府主催の公開入札にて当社が落札したことにより、FSNL社発行済み株式の100%を取得し、完全子会社化するために進めてきたものです。

※1 関連報道発表：2024年9月27日 <https://ssl4.eir-parts.net/doc/9025/tdnet/2504770/00.pdf>

FSNL社はインド国内の製鉄所で副生されるスラグ(製鉄過程で発生する副産物)の処理、スラグ中に含まれる金属成分の回収、これらの利材化を目的とした加工および取扱品の物流事業に携わっています。また、当社は、長年にわたり国内の製鉄所で製鉄原料管理、鉄鋼製品の加工・梱包、物流、設備メンテナンスなどさまざまな業務を提供^{※2}しています。

※2 当社Webサイト「鉄鋼サービス紹介」 <https://www.konoike.net/solution/servicelineup/steel/>

インドは現在世界第2位の粗鋼生産量(1億4千万トン(2023年実績))を持ち、2030年までに3億トンまで能力を引き上げることを政府が公表するなど、今後世界の鉄鋼業界をけん引する国と見込まれています。当社は、インド事業を「中期経営計画」(2023年3月期～2025年3月期)^{※3}の注力事業の一つとして位置付けており、FSNL社のグループ化によって成長が期待されるインドにおける鉄鋼市場に参入し、インド市場での新たな収益基盤として鉄鋼事業に注力していきます。

※3 「新中期経営計画説明資料」 https://ssl4.eir-parts.net/doc/9025/ir_material_for_fiscal_ym2/118440/00.pdf

■鴻池運輸 執行役員 鉄鋼本部長 藤原 俊宏(ふじわら としひろ)

FSNL社は、インドの国営系鉄鋼メーカーを主要顧客として確固たる地位を築いてきた優良企業です。同社の事業内容は、当社の鉄鋼本部の事業と重なるところが多くあります。今回のインド政府による同社の民営化事業を落札という形で獲得できたことは、当社にとってもインド事業拡大の大きな一手であり、またFSNL社にとっても我々のノウハウを適用して生産性の向上を図れるという、Win-Winな関係を構築できるものと期待しています。



■Ferro Scrap Nigam Limited の概要 (<https://fssl.nic.in/>)

商号	Ferro Scrap Nigam Limited	代表者	Chairman and Managing Director Manobendra Ghoshal
本社	FSSL BHAWAN, Equipment Chowk, Central Avenue, Post Box-37 Bhilai-490001.		
会社設立	1979年3月28日		
資本金	320百万INR	従業員数	423名
売上高	4,346百万INR	営業利益	882百万INR
事業内容	鉄鋼スラグ加工、スクラップ回収 等		

※資本金、従業員数、売上高、営業利益：2024年3月31日現在。

以 上